

# 総合的な学習の時間 つくばの環境を考えよう

5年

授業者 佐藤 宏・小泉 雄一・小野 裕子

## ■ 単元の目標

- つくば市や近隣の自然環境や住環境などに目を向け、自分の関心を持った内容について進んで調査や実験観察を行うことができる。(関心・意欲・態度)
- 関連のある情報や資料から、必要なものだけをまとめることができる。また、友達の発表を聞いて、良いところや自分の考え深めることができます。(思考・判断)
- インターネットや書籍から自分が調べたことを、スタディノートに分かりやすくまとめ、自分の考えや分かったことを発表することができる。(表現・技能)
- 環境にスタディノートやインターネットを使い、自分の考えや分かったことを分かりやすくまとめることができます。(知識・理解)

## ■ I C T 活用の視点

### ○ 学習効果を高めるための ICT 活用

web カメラや市の TV 会議システムを使用し、自分たちが知りたいことを他校の児童や研究員の先生方と、意見や情報の交換をダイレクトに行う。本時グループは、3 つに分かれ、1 台は市の TV 会議システムを、他の 2 台は普通のインターネット回線を使用する。

## ■ 本時の授業の概要

4 年生までの学習で、つくば市の地理的なことや生命誕生、自然の大切さを学んできた。この時期、自然や科学、社会事象についての関心が高まり、それに伴う読書の量も広がっている。5 年生になっては、国語の授業でも、説明文「森林の贈り物」を通して身近なところにある環境問題から、人間と社会との関わりや人間と自然との関わりに関する学習も読み進めてきた。1 学期には、継続研究をしているヤゴ救 出作戦や霞ヶ浦湖上セミナーでの水質検査に関する学習も実施してきた。

これらの学習をもとに、児童一人一人が身近な環境に目を向けさせ、自然環境の現状を理解すると共に、環境改善や自然環境維持の大切さを気づかせたい。その後、「じぶんにできること」という視点から、自分たちが住みやすく、自然と共存した環境、未来のために何ができるかを考えたり、その考えを実践していこうとする気持ちや実践力を育てたい。

#### グループ 1 : 自然 (32名)

- つくばの水生動植物と水質
- 無農薬農業の現状と課題

#### グループ 2 : 資源 (29名)

- リサイクル 4R とその活用
- つくばの排気と空気の汚れ

#### グループ 3 : クリーンエネルギー (33名)

- 太陽エネルギーの活用
- エコカーの現状と未来

## 本時の目標

TV 会議を通して意見の交換をすることにより、各自の課題追求に向けて、さらに考え方や知識を深めることができる。

学習活動	指導上の留意点
1. 本時のめあてを確認する。	調べてきたことを自信を持って発表させる。
考えを深めよう！ つくばの環境について	
2. TV 会議を通して、意見の交換を行う。	内容は、相手が聞きやすい速さではっきりと発表させる。
○ グループ 1 <ul style="list-style-type: none"><li>• 農業・食品産業技術総合研究機構</li><li>• つくば市昆虫館 植村先生</li></ul>	制限時間を定め、時間を超えないように発表させる。
○ グループ 2 <ul style="list-style-type: none"><li>• 市リサイクル推進課</li></ul>	必要に応じてメモをとりながら、相手の話を聞かせる。
○ グループ 3 <ul style="list-style-type: none"><li>• つくば工科高校</li></ul>	相手に対する礼儀に留意して意見交換を行うようにする。
3. 本時の活動を振り返る。	伝えられたことや新しい発見をワークシートにまとめること。
4. 次時からの活動内容について考える。	会議を通して、考えの深まりや新しい発見について振り返り、今後の探究の方向性を考えること。